

飲水思源

町長 松岡市郎

写真の町条例とまちづくり評価

地方創生が強く求められている。そしてそこでは常に先駆性が問われている。最近特に思うことは、先人の取り組みの先駆性だ。

それは1985(昭和60)年、「写真の町」を宣言し、写真の町条例を制定したことである。国は遅れること16年後の2001(平成13)年に議員立法で「文化芸術振興基本法」を制定した。心豊かな社会形成と世界の平和を願い、伝統的文化の継承と新たな文化芸術の創造を掲げている。この法律を受けて、国は2015(同27)年に文化芸術立国を宣言し、2020(同32)年の東京オリンピックに向かって各種の文化芸術振興と国際交流、日本語教育の振興を目指すことなどを明記している。

東川町では国に先駆け、写真の町条例で「写真を媒体とし、写真文化と国際交流を通じて、世界に開かれた自然と文化の調和した町」を目指して来ている。「文化芸術振興で自治体が運営できますか」「文化芸術で飯が食えるか」という声がある。この答えに對して重要なことは、文化芸術に携わる方々が安定した生活ができ、かつ

彼らの作品が国内外の多くの人々に魅力として届き、鑑賞していただく機会の創設に伴って多くの人々が活動する環境を創造することにあると考えている。

美しい東川の風景を守り育てる条例では、先導的な役割の中で「公共施設の整備に当たり文化芸術作品の配置を積極的に行う」と規定されている。まちづくりの中に文化芸術の分野を取り込むことになっているのである。文化芸術活動に関わる方々への応援であり、このことが町の価値「東川らしさ」の個性を創造する。共益の視点からの規定ともいえる。まちづくりに生活文化、芸術文化活動を生かすことは地域の個性となり、「くらしさ」に繋がっていく。この活動は、水や食料などと違って生死を問うようなものではない。しかししっかりと心に響くものである。写真の町を宣言して30有余年、写真甲子園の映画化などとともに、素晴らしいとの評価が聞かれるようになった。写真の町は、持続と時の流れが生み出した無形文化遺産、魅力となつていのである。先人の先駆的な取り組みに感謝である。

未来の年表 人口減少日本でこれから起きること(一般書)



日本が人口減少社会にあることは「常識」。しかしその実態を正確に知る人はどのくらいいるのか? 第1部は未来の現実をデータで示した「基礎編」として、何が起るのかを時系列に年代順に、かつ体系的に示した「人口減少カレンダー」を示している。第2部では、第1部で取り上げた問題への対策を「10の処方箋」として提示。日本社会、日本経済を真摯に考える。

ファインディング・ドリー (DVD)

ウォルト・ディズニー・ジャパン



「ファインディング・ニモ」の冒険から1年後。ドリーはニモとともに出掛けた学校の遠足で激流に飲まれ、過去に似たような経験があったことを思い出す。「激流には近付いてはいけない」と自分に教えてくれたのは両親だということも。改めて両親を探すことを決心したドリーは、唯一覚えていた「カリフォルニアモロ・ベイの宝石」という言葉を手掛かりに、ニモ、マーリントともに旅に出る。(97分)

貸し出し図書ビデオ紹介

文化交流館 ☎82-4245

休館日変更

来年オープンする「写真文化首都創生館」(仮称)への移転準備のため、休館日は10月から「毎週火曜日」に変わります。返却本は玄関の返却ポスト、返却DVDは農村環境改善センター(公民館)の窓口にお返しください。

★本、DVDの蔵書リクエストをお受けしています★

1人5冊まで14日間、ビデオは1人2本まで4日間

貸し出し検索

<http://www.lib-finder2.net/higashikawa/servlet/Index>

にちようびは名探偵 (児童書)

杉山 亮/作 偕成社/刊



高価な木ぼりの人形をさがす「スーパーベンケイキング」。いつも間が悪くて犯人とまちがわれてしまう三鷹さんが、またまた登場の「きのぼりキノコ事件」。有名な宝石をめぐる怪盗ムッシュを追いかける「ツタンカーメンのよだれ」の3話を収録。「事件編」にかくされた事件を解くカギを見つけだし、探偵ミルキー杉山より先に犯人を推理してみよう。